

2017年 宅建本試験 問48 選択肢1

平成29年地価公示（平成29年3月公表）によれば、住宅地の公示地価の全国平均は、9年連続で下落した。→ 横ばいだったので×

2017年 統計対策講座 予想問題 問4

平成29年地価公示（平成29年3月公表）によれば、平成28年1月以降の1年間の地価は、全国平均では、住宅地が横ばいに転じたが・・・

2017年 宅建本試験 問48 選択肢2

建築着工統計（平成29年1月公表）によれば、平成28年の持家の新設着工戸数は約29.2万戸となり、3年ぶりに増加に転じた。→ ○

2017年 統計対策講座 予想問題 問2

建築着工統計（平成29年1月公表）によれば、平成28年の新設住宅着工戸数は、持家が3年連続の減少となったが、貸家は及び分譲住宅は増加した。→ 持家は3年ぶりに増加したので×

2017年 宅建本試験 問48 選択肢3

平成29年版土地白書（平成29年5月公表）によれば、土地取引について、売買による所有権移転登記の件数でその動向を見ると、平成28年の全国の土地取引件数は129万件となり、2年連続の減少となった。→ 2年連続の増加だったので×

2017年 統計対策講座 予想問題 問7

平成29年版土地白書（平成29年5月公表）によれば、土地取引について、売買による所有権の移転登記の件数でその動向を見ると、平成28年の全国の土地取引件数は129万件となり、前年に比べ減少した。→ 2年連続の増加だったので×

2017年 宅建本試験 問48 選択肢4

平成27年度法人企業統計年報（平成28年9月公表）によれば、平成27年度における不動産業の経常利益は約4兆3,000億円となっており、前年度比7.5%増となった。→ 3年ぶりの減少だったので×

2017年 統計対策講座 予想問題 問10

平成27年度法人企業統計年報（平成28年9月公表）によれば、平成27年度における不動産業の経常利益は約4兆3,000億円となっており、3年ぶりの増加となった。→ 3年ぶりの減少だったので×